

令和 6 年度

大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会

北部クリーンセンター

《 目 次 》

[1] 令和6年度 運営連絡会名簿		1
[2] 最終処分場運営状況		
(1) ごみの搬入状況等について		
① 搬入状況		2
② 埋立状況		2
③ ごみ量の年度別推移		3
(2) 環境調査結果等について		
① 環境調査及び施設の点検結果		4
② 調査地点位置図		5
③ 処理水及び地下水分析結果		6
④ 河川水及び土壌分析結果		7
(3) 月別搬入状況		
① 令和4年度月別搬入状況		8
② 令和5年度月別搬入状況		9
[3] 運営連絡会設置要綱		10、11
[4] 用語解説		12、13

[1] 令和6年度大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会名簿

(敬称略)

(地元構成員)

(令和6年4月1日)

藤 本 一 夫	伊香立学区自治連合会会長
辻 中 洋 一	伊香立学区自治連合会副会長
下 尾 忠 則	伊香立学区龍華自治会長
西 上 清 紀	真野学区自治連合会会長
濱 本 昌 嘉	真野学区自治連合会副会長
吉 田 昌 弘	真野北学区自治連合会会長
西 方 孝	真野北学区自治連合会副会長
徳 岡 明 治	和邇学区自治連合会会長
大 道 護	和邇学区小野自治会長
近 藤 慶次郎	小野学区自治連合会会長
内 田 成 康	小野学区環境整備推進員代表

(11名)

(大津市構成員)

初 田 久 徳	環境部長
---------	------

(1名)

[2] 最終処分場運営状況

(1) ごみの搬入状況等について

① 搬入状況

(単位：t)

区分		一般ごみ搬入量			クリーンセンターからの搬入量			搬入合計
		持込 有料ごみ	その他	小計	焼却灰及び 飛灰処理物	破碎不燃物	小計	
R4	重量	27.98	363.63	391.61	3,043.54	640.02	3,683.56	4,075.17
	割合	0.7%	8.9%	9.6%	74.7%	15.7%	90.4%	100%
R5	重量	19.16	194.09	213.25	1,602.03	133.33	1,735.36	1,948.61
	割合	1.0%	10.0%	11.0%	82.21%	6.8%	89.0%	100%
対前 年比	重量	-8.82	-169.54	-178.36	-1,441.51	-506.69	-1,948.20	-2,126.56
	比率	-31.5%	-46.6%	-45.5%	-47.4%	-79.2%	-52.9%	-52.2%

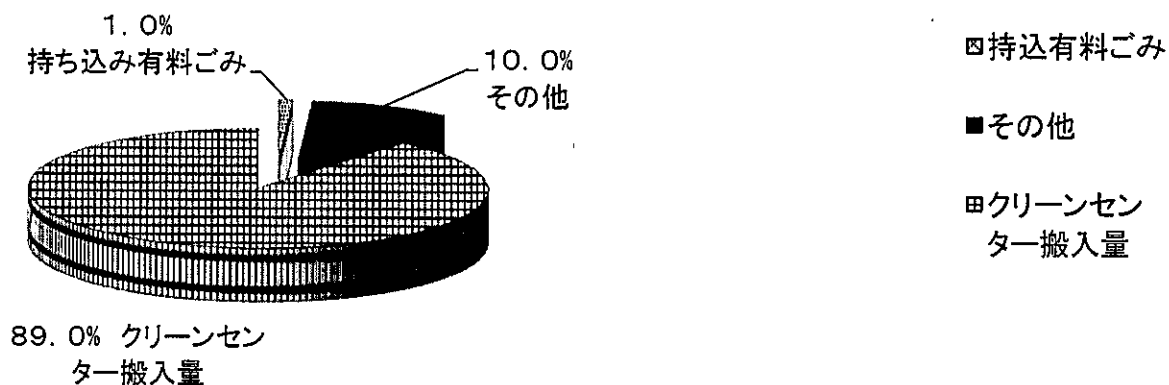
※令和5年度から、フェニックスへの搬出量を1,500tから3,000tに増量したことから、当該処分場への搬入量が減少している。

② 埋立状況（令和6年3月末現在）

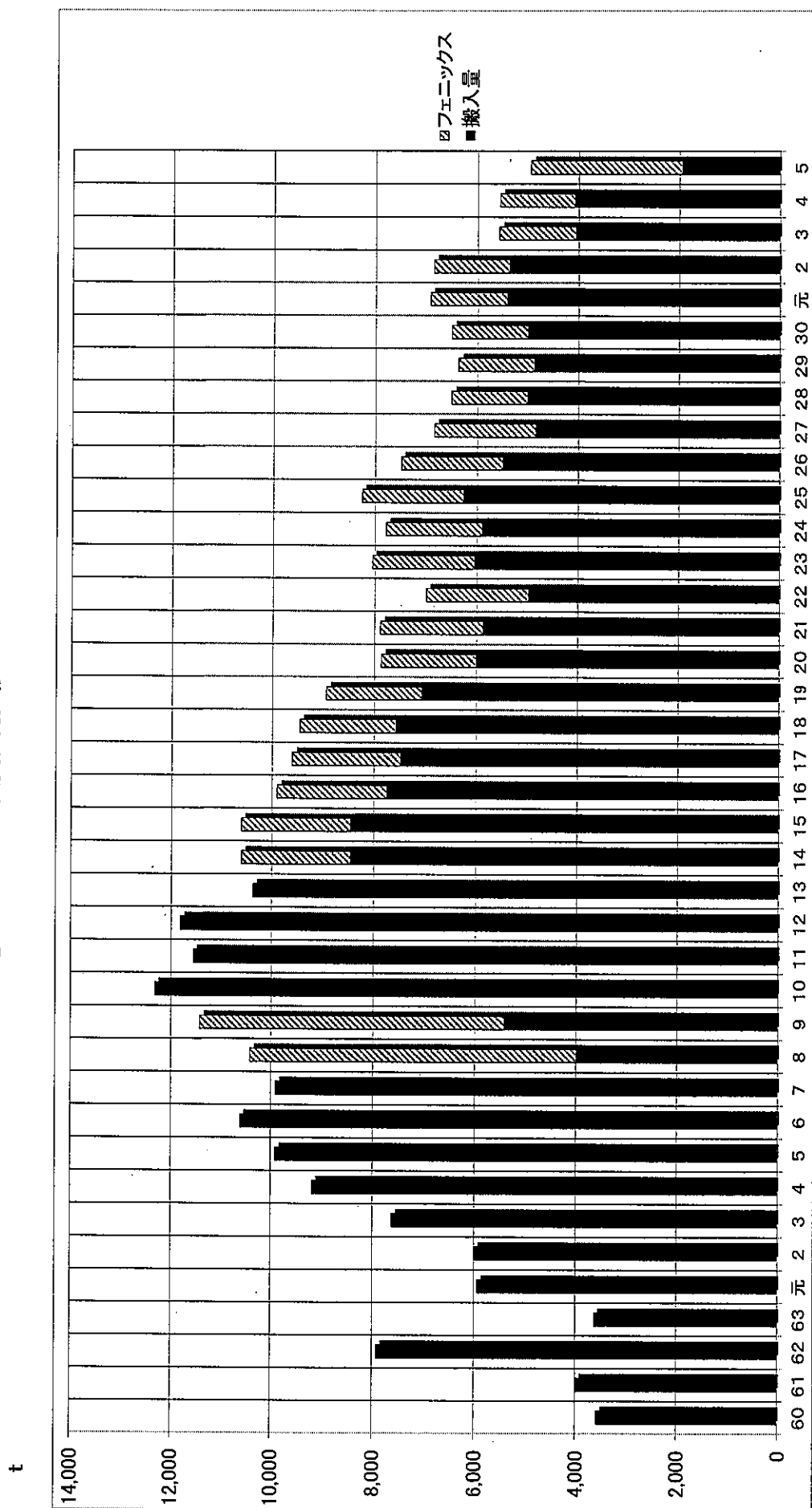
- (1) 埋立済容量 165,732.83 m³ (H13.4～R6.3)
- (2) 埋立残容量 22,467.17 m³
- (3) 埋立率 88.06 %
- (4) 埋立容量（全体） 188,200 m³

令和5年度 搬入量内訳

合計1,949t



③ごみ量の年度別推移



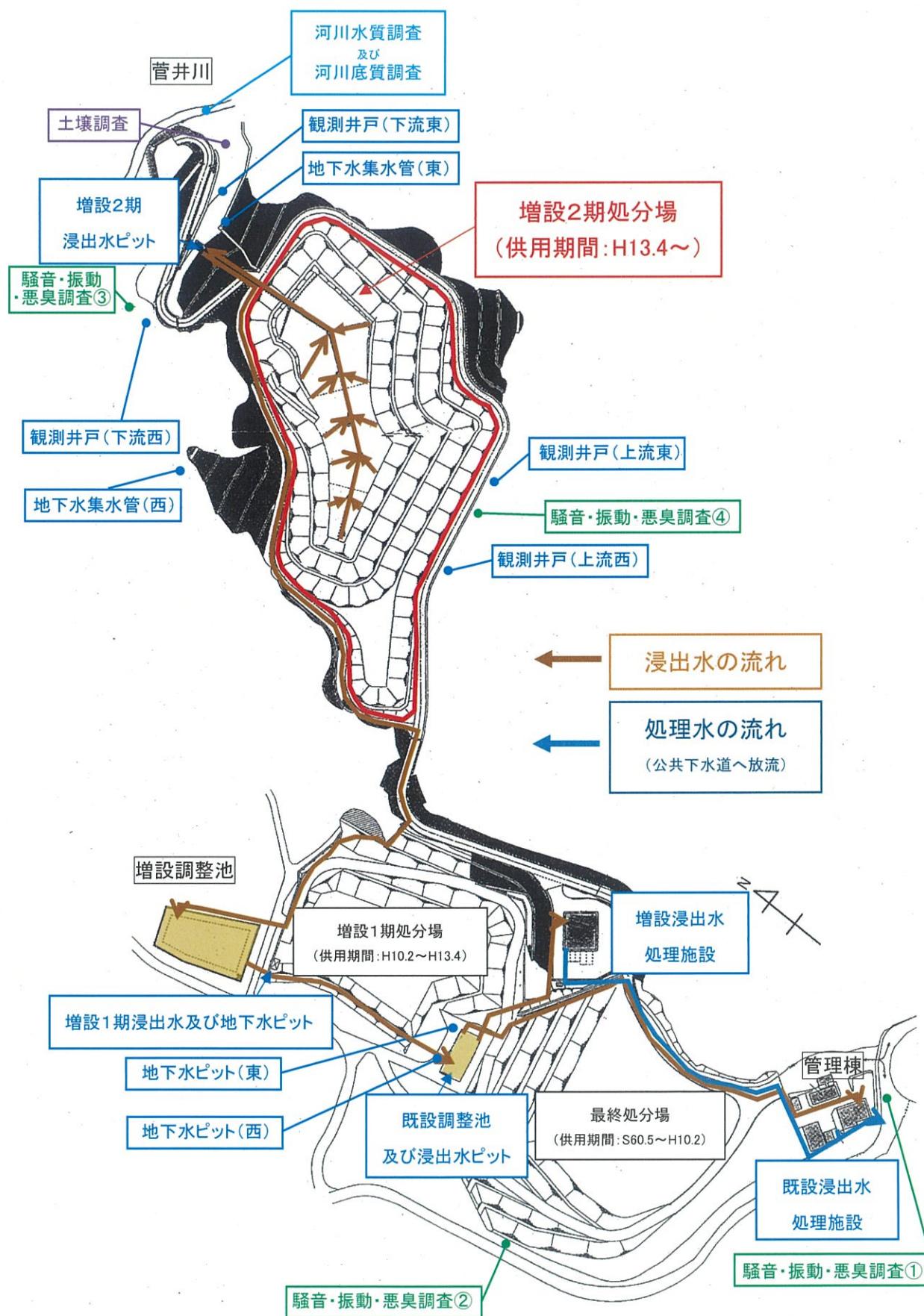
(2) 環境調査結果等について

① 令和5年度環境調査及び施設の点検結果

	項 目	回／年	地 点	結 果
1	騒音調査	4回 5月 8月 11月 2月	敷地境界 4地点 ①事務所前 ②市道側 ③菅井川側 ④湖西道路側	規制基準の55dBを全て満足していた。 ① 44dB (A) ② 42dB (A) ③ 48dB (A) ④ 43dB (A)
2	振動調査	4回 5月 8月 11月 2月	敷地境界 4地点 ①事務所前 ②市道側 ③菅井川側 ④湖西道路側	規制基準の60dBを全て満足していた。 ① 30dB以下 ② 30dB以下 ③ 30dB以下 ④ 30dB以下
3	悪臭調査	4回 5月 8月 11月 2月	敷地境界 4地点 ①事務所前 ②市道側 ③菅井川側 ④湖西道路側	敷地境界4地点で年4回臭気指数を調査した結果、全て10未満であり、協定基準の10以下を満足していた。
4	河川水質	4回 5月 8月 11月 2月	菅井川 1地点	菅井川1地点で年4回測定した結果、人の健康の保護に関する項目で、環境基準を全て満足していた。
5	土壌調査	4回 5月 8月 11月 2月	隣接地 1地点 (増設2期北側)	隣接地1地点で年4回測定した結果、環境基準を全て満足していた。
6	ダイオキシン類調査	2回 5月 10月 (焼却灰、飛灰 処理物は4 月、8月、9 月、2月の計 4回)	処理水(既設) 処理水(増設) 焼却灰 飛灰処理物 地下水(既設) 地下水(増設)	0.00012 pg-TEQ/ℓ (下水道 排除基準10) 0.000062 pg-TEQ/ℓ (" 10) 0.0033 ng-TEQ/g (埋立基準 3) 0.16 ng-TEQ/g (" 3) 0.047 pg-TEQ/ℓ (環境基準 1) 0.046 pg-TEQ/ℓ (" 1)
7	擁壁、遮水シート、汚水槽等の構造物の点検	12回 毎月	—	定期的に点検を実施しているが、特に異常は認められなかった。
8	污水处理施設等の機能点検	平日	—	機器等の稼動状況及び薬品の注入状況等について平日点検を行った。 施設の補修については、定期的に行った。

※測定結果の数値は平均値を表示していますが、それぞれ毎回の測定結果においても、基準値を下回っています。

②調査地点位置図



③処理水及び地下水分析結果 《令和6年5月13日採水分》(増設2期)

項 目			単位	処理水 (下道除水)	下水道 排除基準	地下水	環境基準
環 境 項 目	水 素 イ オ ン 濃 度 (p H)	—	—	7.7	5を超え9未満	7.0	—
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	—	3.5	<600	0.6	—
	化学的酸素要求量 (COD)	〃	—	16	—	1.2	—
	浮 遊 物 質 量 (S S)	〃	—	5.7	<600	1.1	—
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (n-hex)	〃	—	<0.5	<30(<20)	<0.5	—
	総 窒 素 (T-N)	〃	—	26.1	(<60)	0.78	—
	総 磷 (T-P)	〃	—	<0.05	(<10)	0.033	—
	フェノール類含有量 (C6H5OH)	〃	—	<0.01	<5(<1)	<0.01	—
	銅 含 有 量 (C u)	〃	—	<0.05	<3(<1)	<0.01	—
	亜 鉛 含 有 量 (Z n)	〃	—	0.06	<2(<1)	0.028	—
	溶解性鉄含有量 (s-Fe)	〃	—	0.87	<10	<0.05	—
	溶解性マンガン含有量 (s-Mn)	〃	—	0.32	<10	0.15	—
	クロム含有量 (T-Cr)	〃	—	<0.01	<2(<0.1)	<0.01	—
健 康 項 目	カドミウム及びその化合物 (C d)	mg/l	—	<0.001	<0.01	<0.0003	<0.003
	シ ア ン 化 合 物 (C N)	〃	—	<0.01	<0.1	検出されず	検出されないこと
	有 機 磷 化 合 物 (Org-P)	〃	—	検出されず	検出されないこと	—	—
	鉛及びその化合物 (P b)	〃	—	<0.01	<0.1	<0.005	<0.01
	六価クロム化合物 (Cr6+)	〃	—	<0.01	<0.05	<0.01	<0.05
	ヒ素及びその化合物 (A s)	〃	—	<0.005	<0.05	<0.005	<0.01
	水銀及びその化合物 (H g)	〃	—	<0.0005	<0.005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀化合物 (R-Hg)	〃	—	検出されず	検出されないこと	検出されず	検出されないこと
	ポリクロリネイテッドビフェニル (PCB)	〃	—	<0.0005	<0.003	検出されず	検出されないこと
	トリクロロエチレン (TCE)	〃	—	<0.01	<0.1	<0.001	<0.01
	テトラクロロエチレン (PCE)	〃	—	<0.0005	<0.1	<0.0005	<0.01
	ジクロロメタン	〃	—	<0.02	<0.2	<0.002	<0.02
	四 塩 化 炭 素	〃	—	<0.0005	<0.02	<0.0005	<0.002
	1, 2-ジクロロエタン	〃	—	<0.004	<0.04	<0.0004	<0.004
	1, 1-ジクロロエチレン	〃	—	<0.02	<1	<0.002	<0.1
	1, 2-ジクロロエチレン	〃	—	<0.04	<0.4	—	—
	1, 1, 1-トリクロロエタン (MCF)	〃	—	—	—	<0.004	<0.04
	1, 1, 2-トリクロロエタン	〃	—	<0.01	<3	<0.001	<1
	1, 1, 2-トリクロロエタン	〃	—	<0.006	<0.06	<0.0006	<0.006
	1, 3-ジクロロプロペン (D-D)	〃	—	<0.002	<0.02	<0.0002	<0.002
	チ ウ ラ ム	〃	—	<0.006	<0.06	<0.0006	<0.006
	シ マ ジ ン	〃	—	<0.003	<0.03	<0.0003	<0.003
	チ オ ベ ン カ ル プ	〃	—	<0.02	<0.2	<0.002	<0.02
	ベ ン ゼ ン	〃	—	<0.01	<0.1	<0.001	<0.01
	セレン及びその化合物 (S e)	〃	—	<0.01	<0.1	<0.002	<0.01
	亜 硝 酸 性 窒 素 (NO2-N)	〃	—	0.20	<380	<0.001	<10
	硝 酸 性 窒 素 (NO3-N)	〃	—	0.37	—	0.68	—
	弗 素 含 有 量 (F)	〃	—	<0.5	<8	<0.08	<0.8
	ホ ウ 素 含 有 量 (B)	〃	—	0.4	<10	<0.1	<1
	1, 4-ジ オ キ サ ン	〃	—	<0.05	<0.5	<0.005	<0.05
	クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	〃	—	—	—	<0.0002	<0.002
そ 他	アンチモン含有量 (S b)	mg/l	—	<0.01	(<0.05)	<0.01	—
	ニッケル含有量 (N i)	〃	—	<0.01	(<1)	—	—
	ヨウ素消費量	〃	—	1	<220	—	—

※採水場所 ◎処理水は増設污水处理施設
※下水道排除基準の()内数値は日間平均値

◎地下水は増設2期(地下集水管東)

④河川水（令和6年5月16日採取分）及び土壌（令和6年5月14日採取分）分析結果

項 目			河川水	環境基準	土壌	環境基準
環境項目	水素イオン濃度 (p H)	a 20℃	7.7	6.5以上8.5以下	—	—
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	0.6	<2	—	—
	化学的酸素要求量 (COD)	〃	4.3	—	—	—
	浮遊物質・量 (S S)	〃	6.6	<25	—	—
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (n-hex)	〃	<0.5	—	—	—
	総窒素 (T-N)	〃	0.89	—	—	—
	総燐 (T-P)	〃	0.051	—	—	—
	亜鉛含有量 (Z n)	〃	0.03	—	—	—
	銅含有量 (C u)	〃 (※)	<0.05	—	5	<125
有害物質（健康項目）	カドミウム及びその化合物 (C d)	mg/l	<0.0003	<0.003	<0.0003	<0.003
	シアン化合物 (C N)	〃	検出されず	検出されないこと	検出されず	検出されないこと
	有機燐化合物 (Org-P)	〃	—	—	検出されず	検出されないこと
	鉛及びその化合物 (P b)	〃	<0.005	<0.01	<0.005	<0.01
	六価クロム化合物 (Cr 6+)	〃	<0.01	<0.05	<0.01	<0.05
	ヒ素及びその化合物 (A s)	〃	<0.005	<0.01	<0.005	<0.01
	水銀及びその化合物 (H g)	〃	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀化合物 (R-Hg)	〃	検出されず	検出されないこと	検出されず	検出されないこと
	ポリクロリネイテッドビフェニル (PCB)	〃	検出されず	検出されないこと	検出されず	検出されないこと
	トリクロロエチレン (TCE)	〃	<0.001	<0.01	—	—
	テトラクロロエチレン (PCE)	〃	<0.0005	<0.01	—	—
	ジクロロメタン	〃	<0.002	<0.02	—	—
	四塩化炭素	〃	<0.0005	<0.002	—	—
	1, 2-ジクロロエタン	〃	<0.0004	<0.004	—	—
	1, 1-ジクロロエチレン	〃	<0.002	<0.1	—	—
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	〃	<0.002	<0.04	—	—
	1, 1, 1-トリクロロエタン (MCF)	〃	<0.001	<1	—	—
	1, 1, 2-トリクロロエタン	〃	<0.0006	<0.006	—	—
	1, 3-ジクロロプロペン (D-D)	〃	<0.0002	<0.002	—	—
	チウラム	〃	<0.0006	<0.006	—	—
	シマジン	〃	<0.0003	<0.003	—	—
	チオベンカルブ	〃	<0.002	<0.02	—	—
	ベンゼン	〃	<0.001	<0.01	—	—
	セレン及びその化合物 (S e)	〃	<0.002	<0.01	—	—
	亜硝酸性窒素 (NO2-N)	〃	0.017	<10	—	—
	硝酸性窒素 (NO3-N)	〃	0.54		—	—
	弗素含有量 (F)	〃	0.11	<0.8	—	—
	ホウ素含有量 (B)	〃	<0.1	<1	—	—
	1, 4-ジオキサン	〃	<0.005	<0.05	—	—

※ 採水場所は、以下のとおり

◎ 河川水は菅井川

◎ 土壌は増設2期北側

※ 土壌分析において、銅 (C u) は含有量試験によるもので、単位はmg / kg です。

(3) 月別搬入状況

①令和4年度 月別搬入状況

(単位:t)

月	搬入ごみ			クリーンセンター搬入量				搬出量	搬入合計
	持込有料ごみ	その他	小計	焼却灰	飛灰処理物	破碎不燃物	小計		
4月	4.76	88.58	93.34	197.06	82.92	46.65	326.63	0	419.97
5月	1.07	116.72	117.79	286.38	92.05	66.08	444.51	0	562.30
6月	7.73	73.80	81.53	320.66	208.47	71.17	600.30	0	681.83
7月	3.41	20.32	23.73	118.24	117.85	58.43	294.52	0	318.25
8月	3.62	0.42	4.04	94.36	94.14	47.64	236.14	0	240.18
9月	0.59	0.33	0.92	144.06	101.67	48.32	294.05	0	294.97
10月	1.37	0.59	1.96	145.91	144.36	52.14	342.41	0	344.37
11月	1.40	0.95	2.35	93.55	102.41	56.61	252.57	0	254.92
12月	1.57	60.46	62.03	110.89	119.70	41.27	271.86	0	333.89
1月	0.99	0.36	1.35	120.42	110.20	61.43	292.05	0	293.40
2月	0.47	0.83	1.30	42.28	86.06	47.98	176.32	0	177.62
3月	1.00	0.27	1.27	43.28	66.62	42.30	152.20	0	153.47
合計	27.98	363.63	391.61	1,717.09	1,326.45	640.02	3,683.56	0	4,075.17
月平均	2.33	30.30	32.63	143.09	110.54	53.34	306.96	0	339.60

②令和5年度 月別搬入状況

(単位:t)

月	搬 入 ご み			クリーンセンター搬入量				搬入合計
	持込有料ごみ	その他	小計	焼却灰	飛灰処理物	破碎不燃物	小計	
4月	0.76	2.84	3.60	325.44	126.48	32.70	484.62	488.22
5月	3.55	0.29	3.84	120.99	68.98	45.44	235.41	239.25
6月	2.32	33.36	35.68	80.49	39.80	0.00	120.29	155.97
7月	1.64	3.24	4.88	161.31	10.01	0.00	171.32	176.20
8月	1.36	0.91	2.27	100.48	0.00	9.24	109.72	111.99
9月	1.28	0.21	1.49	180.72	0.00	15.12	195.84	197.33
10月	1.41	24.44	25.85	40.00	0.00	0.00	40.00	65.85
11月	1.66	0.45	2.11	121.69	0.00	14.04	135.73	137.84
12月	2.46	1.31	3.77	52.14	10.71	0.00	62.85	66.62
1月	0.40	61.56	61.96	61.95	0.00	4.92	66.87	128.83
2月	0.70	0.12	0.82	50.71	0.00	6.44	57.15	57.97
3月	1.62	65.36	66.98	50.13	0.00	5.43	55.56	122.54
合計	19.16	194.09	213.25	1,346.05	255.98	133.33	1,735.36	1,948.61
月平均	1.60	16.17	17.77	112.17	21.33	11.11	144.61	162.38

大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会設置要綱

(目的)

第1条 大津市北部廃棄物最終処分場（以下「処分場」という。）の円滑な運営を図るために必要な事項を協議するため、大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会（以下「運営連絡会」という。）を設置する。

(協議する事項)

第2条 運営連絡会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 処分場の埋立状況の監視に係る事項
- (2) 地元自治会等と締結した協定書に定める遵守事項の履行の確認に係る事項
- (3) その他必要な事項

(構成)

第3条 運営連絡会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 地元自治会から選出された者
- (2) 市長が指名する市職員
- (3) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 運営連絡会の構成員の任期は、2年とする。ただし、補欠の構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営連絡会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ、次条の規定により庶務を担当する所属の長（以下「庶務担当所属長」という。）が招集する。

2 会議は、あらかじめ庶務担当所属長が構成員のうちから指名した座長が進行するものとする。

(庶務)

第6条 運営連絡会の庶務は、北部クリーンセンターにおいて処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、運営連絡会について必要な事項は、市長が定める。

付 則

- 1 この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この要綱の施行後最初に開催される委員会は、第 6 条第 1 項の規定にかかわらず管理者が招集する。

附 則

この要綱は、平成 2 5 年 3 月 2 5 日から施行する。

1. 原水

- ・処分場の埋立物と接触した雨水で、処分場から汚水として浸出する水です。

2. 浸出水ピット

- ・原水を原水調整池に送水するための設備です。

3. 原水調整池

- ・原水を貯留するための池です。

4. 処理水

- ・処分場で発生した浸出水を浸出水処理施設で生物処理、凝集沈殿などの処理を行って浄化した水です。下水道に放流しています。

5. 騒音

- ・音に対する人間の感じ方は、音の強さ・周波数の違いによって異なります。
- ・騒音の大きさは物理的に測定した騒音の強さに、ヒトの聴覚補正（A 特性）を加味して、デシベル（d B（A））で表します。

6. 振動

- ・振動の大きさの感じ方は、振幅・周波数等によって異なります。
- ・振動の大きさは、物理的に測定した加速度振幅の大きさに、ヒトの感覚補正を加味して、デシベル（d B）で表します。

7. 悪臭

- ・特有の臭いを発する化学物質は40万種にも達するといわれていますが、このうちアンモニアなど22物質を特定悪臭物質として悪臭防止法で規制しています。
- ・大津市では平成24年4月1日より、人間の臭覚により匂いを判定する『臭気指数規制』を導入し規制数値が定められています。

8. 環境基準

- ・環境基本法第16条で人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として「大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音」などについて定められています。

9. 規制基準

- ・法律や条令で定められた特定施設等を有する事業所等から発生する騒音や振動等の

敷地境界における大きさの許容限度のことです。

10. ダイオキシン類

- ・他の多くの化学物質とは異なり、製造を目的として生成されたものではなく、炭素、酸素、水素、塩素が熱せられるような行程で意図せずできてしまうもので、廃棄物の焼却過程や金属精錬の燃焼行程、紙などの漂白行程などで発生します。

11. 単位の接頭語

- ・基本単位（g、mなど）につけて構成されています。

記号：名称	m：ミリ	μ：マイクロ	n：ナノ	p：ピコ
倍数	×1／千	×1／100万	×1／10億	×1／1兆

12. TEQ（毒性等量）

- ・ダイオキシン類は多くの同族体、異性体を持ち、それぞれ毒性が異なることから、最も毒性の強い「2，3，7，8－四塩化ジベンゾーパラージオキシン」の量に換算した量です。

13. 下水道排除基準

- ・汚水等を下水へ流すことを「排除」、排除される下水に対する基準を「下水道排除基準」と言います。

14. 埋立基準

- ・灰の埋立処分を行うために遵守しなければならない基準のことです。

15. mg／ℓ（ミリグラム、パー、リットル）

- ・水質関係で多く用いられる濃度の単位で、液体1ℓ中に含まれるその物質の重量（千分の一グラム）を示します。

16. 水質分析項目のうち一般項目（環境項目）

- ・生活環境を保全するための基準で、pH等について基準値が設定されています。

17. 水質分析項目のうち有害物質（健康項目）

- ・人の健康に被害を与えるおそれのある物質で、カドミウム等について基準が設定されています。

メモ